

平成30年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	豊橋市障害者福祉会館(さくらピア)
所在地	豊橋市東新町15番地
指定管理者	豊橋障害者(児)団体連合協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
担当課	福祉部障害福祉課(0532-51-2340)
平成29年度指定管理料(決算)	39,874千円
平成30年度指定管理料(決算見込)	39,668千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書等に基づき適正に行った。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	事業計画書のとおり自主事業(スポーツ文化教室、障害児余暇支援事業、相談事業等)が実施されており、障害者の情報収集、生涯学習の場として、障害者の社会参加に役立っている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書のとおり、適正かつ効率的な施設管理職員の配置がなされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	施設管理や防災関係の研修等を随時実施している。また、施設管理に関わる保健衛生講習や、障害当事者による発信事業に参加し、職員の障害者理解の推進に努めた。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書に基づき「個人情報取扱特記事項」を遵守し、個人情報保護について適正に管理されており、職員に対する周知も徹底している。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	危機管理マニュアル及び緊急時の連絡体制が整備され、防災訓練も適切に実施している。また、障害当事者参加の避難所体験や、利用者を対象とした「防災タイム」を実施し、災害時の対応について利用者に配慮できるよう取組んでいる。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者には、公平、平等な対応をしており、特定の個人、団体に有利又は不利になるようなことはなく適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数や施設稼働率についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して平成29・30年度を比較)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(H30-H29)
			開館日数	294日	293日	293日	0日
			利用者数				
	a. 教室・イベント開催	96回	96回	96回	0回		
b. 延べ利用者数	55,201人	54,343人	54,575人	232人			
【要因分析】上半期は猛暑の影響を受け、特に体育館の利用者が前年度から減少した。下半期には今後の継続利用が見込める新たな団体利用者を獲得したことにより、通年では前年度から微増となった。							
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート、利用者会議を実施し、自主事業の充実や館内整備の改善に努めている。 月刊紙「さくらだより」、行事開催後の活動報告などの活動内容をホームページで広く公開するなど障害者のみでなく広く市民にPRし、障害者に対する理解啓発に努めている。 ツリークライミング、移動動物園など、毎年好評の事業についても引き続き実施した。 					
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	利用者アンケート(施設利用満足度) [施設全般について] 大変満足52% ほぼ満足45% やや不満3% 大変不満0% 合計100% アンケート結果を分析すると、大変満足・ほぼ満足という回答が97%となっており、多くの利用者に満足していただいている。具体的には、ロビーの飾りつけが季節を和やかに演出されていて心地よい、整理整頓が行き届いて使いやすいなどの意見があった。行事の新聞掲載記事について声をかけられることも多い。					

意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応		
		視覚障害者にいろいろ配慮くださりありがとうございます。		—		
		当日利用にも臨機応変に対応いただいている。		—		
		行事等で社会参加できる機会をいただいている。		—		
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	駐車場の台数が少ないとの意見が多いが、改善は難しい状況。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理処理が行われている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離しなかったか。	節電の取り組みにより光熱水費を節約できたので、その分を修繕費に流用した。その他は概ね収支計画書どおりの収支状況となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	39,668千円	指定管理事業費	38,848千円
			利用料金収入	0千円		0千円
			自主事業収入	0千円		0千円
その他収入	0千円					
		収支差額		820千円		

指定管理者の自己評価	<p>避難所体験事業について、「ハートを伝える・備えを学ぶ」のテーマで避難報告訓練と薬剤師会の講演を行った。かかりつけ薬剤師制度を知らない人が多く、タイムリーな話題に大きな反響があった。今年度の避難所体験報告書に合わせて、3年間の防災タイム・親子防災・過去10年間の記録を掲載、市民に対する啓発に努めた。</p> <p>スポーツ文化教室は、新たにこどもクッキング教室を開催した。講座ごとにアンケートを取り、希望の講座を実施している。</p> <p>相談事業は、日常の相談に加え料理教室、ブラインドメイク(視覚障害者の化粧法)を開催、相談事業の周知や、ピアカウンセラーのPRに努めた。</p> <p>建物管理では全体的に老朽化による故障、損壊が多いが、こまめな点検と応急処置の実施により、事故なく管理・運営することができた。</p>
------------	---

総合評価	<p>利用者については、猛暑の影響を受け上半期では前年度より減少したものの、通年では前年度を上回ったことは評価できる。</p> <p>また、利用者のニーズを踏まえて和室に絨毯・椅子を設置したり、パラリンピックを見据えてポッチャ用備品を購入、PRしたりするなど、利用者数増に寄与するとともに、施設の目的にかなった取り組みが実施されていると考える。</p> <p>施設の管理については、利用者が安心して使えるよう職員が毎日開館前に安全点検を実施しており、概ね良好な施設管理・施設運営が行われている。施設の老朽化に伴う故障等が散見されるので、市と指定管理者の連携をより密にし、引き続き適切な管理を実施していく。</p>
------	--